

2 片脚での体重支持（立脚中期，立脚終期）	60
1) 正常な関節運動 2) 異常な関節運動	
3 下肢の振り出し（前遊脚期，遊脚初期，遊脚中期，遊脚終期）	64
1) 正常な関節運動 2) 異常な関節運動	

第3章 ケーススタディ

1 変形性股関節症	工藤慎太郎	67
Overview		
1 疾患の概要		67
2 診断と治療の流れ		68
3 本疾患による機能障害		69
4 リハビリテーションの概要		70
症例		
1 姿勢・動作の観察，分析，考察		72
1) 臥位 2) 立位		
2 歩行の観察，分析，考察 <small>Web動画</small>		77
3 動作に共通した異常と検査測定による検証		80
4 患者に必要な能力は何か？		82
5 必要な能力に対応した治療プラン		82
1) 股関節痛に対するアプローチ 2) 股関節外転トルクの改善		
2 変形性膝関節症	久保秀一	85
Overview		
1 疾患の概要		85
2 診断と治療の流れ		85
3 本疾患による機能障害		86
4 リハビリテーションの概要		86
症例		
1 姿勢・動作の観察，分析，考察		87
1) 座位 2) 立ち上がり 3) 立位 4) 着座		
2 歩行の観察，分析，考察 <small>Web動画</small>		93
3 動作に共通した異常と検査測定による検証		99
4 患者に必要な能力は何か？		99
1) 可動域として：膝関節の伸展制限の改善 2) 筋力として：膝伸展筋力の改善 3) 下肢全体のアライメントとして		

5	必要な能力に対応した治療プラン	100
	1) 可動域として：膝関節の伸展制限の改善 2) 筋力として：膝伸展筋力の改善 3) 下肢全体のアライメントとして	
3	不全頸髄損傷	中俣孝昭 102
	Overview	
1	疾患の概要	102
2	診断と治療の流れ	102
3	本疾患による機能障害	103
4	リハビリテーションの概要	103
	症例	
1	姿勢・動作の観察、分析、考察	104
	1) 仰臥位、起き上がり 2) 座位 3) 立ち上がり	
2	歩行の観察、分析、考察 <small>Web動画</small>	111
	1) 歩行全体の印象 2) 左下肢 3) 右下肢 4) 歩行観察のまとめ 5) 歩行(分析) 6) 歩行(考察)	
3	動作に共通した異常と検査測定による検証	119
	1) 理学療法評価結果 2) 歩行観察結果と、起居動作、検査結果の関連性	
4	患者に必要な能力は何か？	121
	1) 下部体幹と骨盤の運動性の向上 2) 下肢筋力の増強 3) 歩行パターンの習得 4) 歩行耐久性の向上	
5	必要な能力に対応した治療プラン	122
	1) 骨盤および体幹の運動性の向上に対して 2) 骨盤、股関節周囲筋の筋力増強訓練 3) 関節可動域訓練と筋の持続的伸長訓練 4) 歩行耐久性の向上	
4	高齢者(大腿骨頸部骨折, 変形性腰椎症)	工藤慎太郎 125
	Overview	
1	疾患の概要	125
	① 大腿骨頸部骨折とは ② 変形性腰椎症とは	
2	診断と治療の流れ	127
3	本疾患による機能障害	127
4	リハビリテーションの概要	129
	症例	
1	姿勢・動作の観察、分析、考察	130
	1) 臥位 2) 端座位 3) 立ち上がり 4) 立位 5) Functional Reach Test	
2	歩行の観察、分析、考察 <small>Web動画</small>	135
3	動作に共通した異常と検査測定による検証	139
4	患者に必要な能力は何か？	141
	1) 歩行能力の獲得 2) 体幹の運動性の獲得 3) 筋機能(サルコペニア)の改善	

5	必要な能力に対応した治療プラン	142
	1) 歩行能力の獲得 2) 体幹の運動性の獲得 3) 筋機能（サルコペニア）の改善	

5 **脳卒中片麻痺**.....伊藤和寛 146

Overview

1	疾患の概要	146
	① 脳卒中の病型とメカニズム ② 脳卒中の病型別頻度	
2	診断と治療の流れ	147
	① 急性期診療と治療 ② 脳卒中を取り巻く医療環境整備	
3	本疾患による機能障害	150
	① 運動路、感覚路の障害 ② 視床、基底核の損傷による障害 ③ 小脳の損傷による障害	
4	リハビリテーションの概要	154
	① 脳卒中のリハビリテーション：急性期 ② 脳卒中のリハビリテーション：回復期 ③ 脳卒中のリハビリテーション：維持期・生活期	

症例①

1	姿勢・動作の観察、分析、考察	157
	1) 仰臥位・寝返り 2) 端座位・立ち上がり	
2	歩行の観察、分析、考察 <small>Web動画</small>	163
3	動作に共通した異常と検査測定による検証	170
	1) 理学療法評価結果 2) 各体節間における分節的運動性の低下 3) 麻痺側下肢伸展筋群による協調的な支持機能の低下 4) 麻痺側足関節背屈筋群による下腿と足部の運動制御機能の低下	
4	患者に必要な能力は何か？	176
	1) 各体節間における分節的運動性 2) 麻痺側下肢による協調的な支持機能 3) 麻痺側下肢における下腿と足部の運動制御機能	
5	必要な能力に対応した治療プラン	177
	1) 各体節間における分節的運動性の再獲得に向けて 2) 麻痺側下肢による協調的な支持機能の再獲得に向けて 3) 麻痺側下肢における下腿と足部の運動制御機能の再獲得に向けて	

症例②

1	姿勢・動作の観察、分析、考察	178
	1) 仰臥位・寝返り 2) 端座位・立ち上がり	
2	歩行の観察、分析、考察 <small>Web動画</small>	184
3	動作に共通した異常と検査測定による検証	191
	1) 理学療法評価結果 2) 各体節間における分節的運動性の低下 3) 麻痺側下肢伸展筋群による協調的な支持機能の低下 4) 麻痺側足関節底屈筋群の過剰な筋緊張	
4	患者に必要な能力は何か？	193
	1) 各体節間における分節的運動性（連結活動の最適化） 2) 麻痺側下肢による協調的な支持機能 3) 麻痺側足関節底屈筋群の適切な筋緊張調整	
5	必要な能力に対応した治療プラン	194
	1) 筋活動による体幹-骨盤-下肢の分節的運動制御機能の再獲得に向けて 2) 麻痺側股関節伸展筋群による支持機能の再獲得に向けて 3) 麻痺側足関節底屈筋群の過剰な筋緊張抑制に向けて	

6	パーキンソン病	前川遼太	197
	Overview		
1	疾患の概要		197
2	診断と治療の流れ		197
	① パーキンソン病の診断基準 ② パーキンソン病の治療法		
3	本疾患による機能障害		201
	① 筋固縮 ② 振戦 ③ 無動 ④ 姿勢反射障害		
4	リハビリテーションの概要		204
	① 初期 (Hoehn & Yahr stage I ~ II) ② 中期 (Hoehn & Yahr stage III ~ IV) ③ 後期 (Hoehn & Yahr stage V)		
	症例		
1	姿勢・動作の観察, 分析, 考察		207
	1) 仰臥位 2) 寝返り 3) 起き上がり 4) 座位 5) 立ち上がり 6) 立位		
2	歩行の観察, 分析, 考察 Web 動画		215
3	動作に共通した異常と検査測定による検証		223
	1) 理学療法評価 2) 動作に共通した異常		
4	患者に必要な能力は何か?		224
	1) 可動域の確保 2) 転倒に対する予防能力, 環境設定 (姿勢反射障害への対策・すくみ足対策) 3) 活動量の維持		
5	必要な能力に対応した治療プラン		225
	1) 可動域の改善 2) 転倒予防 (姿勢反射障害への対策・すくみ足対策) 3) 活動量の維持		
●	索引		227